

第 223 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2009 年 7 月 21 日 (火) 13:00~18:00

会 場 薬業健保会館[〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-2, 電話 03-3581-1231
交通: 東京メトロ 銀座線・丸の内線『赤坂見附駅』 徒歩 5 分, 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線『永田町駅』 (6 番出口) 徒歩 5 分]

(http://www.toyaku-kenpo.or.jp/member/01_info/images/honbu_map.pdf)

開催趣旨 近年、目覚ましい普及を遂げている LC/MS であるが、環境分析においても LC/MS を用いた報告が増えている。複雑かつ未知な環境マトリックス成分から、極微量の目的成分を分析するには選択性の高い LC/MS が適している。そこで今回は、環境分析をテーマに LC/MS を活用したご講演をいただきます。

講演主題 環境分析における LC/MS の活用

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)

(シグマアルドリッチジャパン(株)) 海老原卓也

1. SupelMIP を前処理にした LC/MS/MS よるニトロソアミン分析

(13:05~13:35) (シグマアルドリッチジャパン(株)) 海老原卓也

2. 不揮発性緩衝液の使用を可能にする LC/MS 用脱塩インターフェイスの開発

(13:35~14:05) (日本電子(株)) 高橋豊

3. ETDA は生態系かく乱物質か? (14:05~14:45)

((財)日本環境衛生センター) 佐々木秀輝

4. LC/MS/MS を用いた環境水中の有機フッ素化合物の分析 (14:45~15:15)

(アジレント・テクノロジー(株)) 清水尚人

休憩 (15:15~15:30)

5. 新製品 AB SCIEX QTRAP 5500 LC/MS/MS システムを用いた環境汚染物質の分析例と分析メソッドをパッケージした iMethod テストの紹介 (15:30~16:00)

(アプライドバイオシステムズ(株)) 多田美保

6. 都内水環境中における有機フッ素化合物の環境実態及び汚染源解明調査

(16:00~16:40) ((財)東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所) 西野貴裕

7. 母乳中の PFCs 分析 (16:40~17:20)

(星薬科大学) 齊藤貢一

8. 総括「環境分析と LC-MS」(17:20~17:50) (東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC 研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000 円・その他:4,000 円, 学生:500 円(参加費は当日申し受けます)

カタログ展示 1 小間 5,000 円(場所・スペースは運営委員に一任させていただきます)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで意見交換会を開催します(会費 3,000 円)。希望者は必ず前もってお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または同内容を Eメールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-mail: hm_tanaka@jsac.or.jp]